



門真市立第七中学校スクールプラン

〈七中校区のめざす子ども像〉

なかまとともに豊かにまなぶ子

校訓

有言実行

学校教育目標

自ら学び、つながり、未来をきりひらく生徒の育成

～つながり・まなび・きりひらくための非認知能力の育成～

テーマ

生徒の『できた』をふやす学校

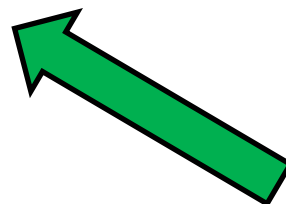
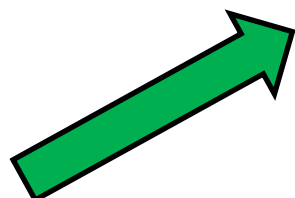


重点目標

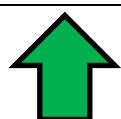
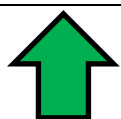
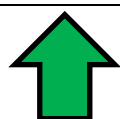
伝える

教職員の働き方改革

- ・教職員の業務改善
- ・ICTの活用
- ・チーム学校の推進
- ・部活動の適正な運営



	つながり	まなび	きりひらく
子ども主体の学び	○協働的な学び ・指導案検討会・研究授業・公開授業の実施 ・各教科に応じた体験活動を取り入れる。 ・他者参照、他者共有、共同編集等の活用 ○言語活動の充実 ・言語環境を整える ・各教科で言語活動を実施 ・読書週間の実施	○個別最適な学び ・AIドリルを取り入れた授業の研究・実施 ・自由進度学習の研究・実施 ○情報活用能力の育成 ・「大阪府情報活用能力ステップシート」の活用 ・各教科で、活動スキル、探究スキル、論理的思考を身につけさせる。 ・生徒指導部と技術科で情報モラルに取り組む。	○自ら学ぶ力の育成 ・実生活との結びつきを意識した授業の実践 ・家庭学習用ノート、キュービナの活用 ・授業で見通しを立てたり、振り返ったりする活動を取り入れる。 ○指導と評価の一体化の研究 ・学習のしおりの改善、作成 ・評価検討委員会の開催
探究的な学び	○支援教育の推進 ・校内支援委員会の開催 ・個別の支援計画、個別の指導計画の活用 ・ユニバーサルデザインの研究 ○健康と安全、体力の向上 ・保健教育、防災教育の実施 ・食育アンケートの実施 ・給食カレンダーの活用 ・体力づくりアクションプランの実施		
	○地域や社会とのつながりを意識した教育活動の実施 ・職業講話（夢探究）職業体験（社会探究）の実施 ・高校の出前授業（みらい探究）の実施（3年） ・福祉体験（福祉探究）の実施 ・学校運営協議会、PTAとの連携	○教科で学んだことを学校行事や取組みで活用 ・カリキュラム・マネジメントの実施 ・道徳の別葉の活用	○各学年のテーマに沿った総合学習の実施 ・1年まなび・2年つながる・3年きりひらくをテーマに探究活動を実施 ・新聞づくりやポスターセッションなどのまとめ・表現活動を実施
生徒指導の充実	○考え・議論する道徳教育の推進 ・校内研修の実施 ・公開授業の実施 ・道徳アンケートの実施と分析 ・指導と評価の一体化の研究 ○人権教育の推進 ・人権講演会の実施 ・日本語教室の運営		
	○安心・安全な教育環境 ・教室、廊下の環境を整える。 ・校内教育支援ルームの運営 ・生活アンケートの実施 ○外部機関との連携 ・校内チーム会議、ケース会議の開催 ・いじめ対策委員会、不登校対策委員会の開催 ○相談活動の充実 ・教育相談期間の実施 ・SOSの出し方授業、受け取り方研修の実施	○授業の中での生徒指導の研究 ・すべての生徒が活躍する場がある授業づくり ・生徒が失敗を恐れない、間違いやできないことが笑われない授業づくり ・「学習指導と生徒指導の一体化」教職員用チェックリスト、生徒用アンケートの活用 ○いじめの未然防止・早期発見 ・いじめアンケートの実施 ・いじめの教職員研修の実施 ・いじめ予防授業の実施 ・SNSトラブル予防教育の実施	○させる生徒指導から支える生徒指導の転換 ・PBS（肯定的な行動支援）の実施 ・特別支援教育部との連携 ・制服着こなしセミナーの実施（1年） ・ルールシンキング活動の実施 ○生徒を支えるキャリア教育の実現 ・キャリア・パスポートの効果的な活用



自己肯定感・自己有用感・社会参画意識

小中一貫教育の推進

学校運営協議会の推進